※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　工業科（ファッション工学科）

教科	工業	科目	工業情報数理	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	情報技術基礎　新訂版　（実教出版）						
副教材等	パソコン利用技術検定試験　演習問題集　３級ワープロ　公社）全国工業高等学校長協会						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国の GIGA スクール構想による情報教育の促進が進んでいます。今年度から、生徒１人１台端末（ChromeBook）が導入されます。①ICT （テクノロジー）の「善き使い手」になること（責任をもって効果的に活用）② 学びや生活に役立てること （主体的・対話的に深く学ぶ／生活を豊かにする・探究する等）をめざして、学習していきます。

2　学習の到達目標

（１）タブレット端末（ChromeBook）の基礎的な操作方法を習得する。
（２）ワープロ関連知識・技術を身に付け、自らの思考を表現できるようにする。
（３）情報端末に関する知識（OS、パソコンの基礎、パソコンの周辺機器、マルチメディア、ネットワーク）を理解し、現代社会で使用する際に自ら思考し、適切な判断力を身に付ける。
（４）情報管理、情報モラルについて理解し、SNS や Google アカウントを適切に扱う力を身に付け、主体的に取り組む態度を養う。
（５）適切な情報活用について学ぶ。表計算ソフトの使用法について学ぶ。表計算ソフトの基本的な画面構成・四則演算・関数などを理解し、自ら思考し、適切な判断力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文書作成・表計算関連知識・技能、OS、パソコンの基礎、パソコンの周辺機器、マルチメディア、ネットワーク、情報管理、情報モラルについて）について理解する。 ChromeBook の使用方法や適切な情報活用方法について理解し、実用的に活用する力を身に付ける。	情報活用能力の向上をめざし、情報モラルに関しての「ルール」と「違反行為」についての自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身に付ける。 文書作成ソフト・表計算ソフトを実用的に活用することができる。	パソコン・タブレット端末等の活用を通して、適切な使用方法を学ぶ態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善を行い、主体的に取り組む。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	端末の使用方法	・タブレット端末(Chromebook)の適切な方法や活用について学ぶ。	a:ChromeBook の基本的な操作ができる。 b:学習した操作方法を関連付けて、情報収集を行うことができる。	定期考査	実技テスト	提出ノート
	情報活用能力	・情報モラルについて学ぶ	a:情報モラルについて学ぶ。 b:適切な情報収集ができる。 c:情報収集を行い、身近にある SNS（LINE や Instagram 等）の危険性について、調べることができる。	定期考査	実技テスト	ワークシート プレゼン 振り返りシート
2学期	文書作成	・文書作成ソフトの実用	a:文書作成ソフトの使い方や基本操作を学ぶ。 b:仕様書（問題）に沿って、文書作成ができる。 c:自らの考えを文書作成ソフト表現できる。	定期考査	実技テスト	課題
	パソコンの基本知識	・コンピュータの特徴 ・コンピュータの構成 ・コンピュータの発達	a:ハードウェア･ソフトウェア関する知識を理解できる。 c:日常で使用しているものや社会で活用されている機器などに照らし合わせて、考えることができる。	確認テスト 定期考査	提出ノート	ワークシート
3学期	表計算ソフト	・表計算ソフトの実用	a:表計算ソフトの使い方や基本操作を学ぶ。 b:仕様書（問題）に沿って、表計算を行うことができる。 c:自らが考え､計算や関数を使用することができる。	確認テスト 定期考査	実技テスト	課題
	タイピング	タイピングの向上	a:的確にキー入力が可能である。 b:速度を向上させるために、考察し、目的が達成できる。 c:自らが的確かつ速度に向上のために、日頃から取り組んでいる。	ワークシート 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度